



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月3日  
東

上場会社名 株式会社椿本チエイン 上場取引所  
 コード番号 6371 URL <https://www.tsubakimoto.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 隆利  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 西田 努 (TEL) 06-6441-0054  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	182,864	17.6	13,791	6.0	15,633	6.4	10,921	2.9
2022年3月期第3四半期	155,459	13.0	13,005	202.3	14,692	146.7	10,619	107.4

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 20,393百万円(25.4%) 2022年3月期第3四半期 16,258百万円(198.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	294.96	—
2022年3月期第3四半期	286.87	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	351,846	225,334	63.4
2022年3月期	332,620	209,757	62.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 223,009百万円 2022年3月期 207,756百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	50.00	—	70.00	120.00
2023年3月期	—	60.00	—		
2023年3月期(予想)				70.00	130.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	245,000	13.5	17,500	△1.9	19,000	△5.2	13,600	△6.5	367.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年3月期3Q	38,281,393株	2022年3月期	38,281,393株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2023年3月期3Q	1,248,450株	2022年3月期	1,263,127株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年3月期3Q	37,028,068株	2022年3月期3Q	37,017,523株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後の当社グループを取り巻く経営環境の変化、市場の動向、為替の変動などにより、予想数値と異なる場合があります。また、業績に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2022年4月1日～12月31日）における世界経済は、ロシア、ウクライナ情勢の長期化による原材料・エネルギー価格の高騰や部品不足、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う中国主要都市のロックダウンによるサプライチェーンの混乱、インフレの加速に伴う欧米の金利引き上げなど、不透明な状況が続きました。

わが国経済も、ウィズコロナに向け経済社会活動の正常化が進む一方、部品不足の長期化や原材料・エネルギー価格の高騰、円安の進行に伴う物価の上昇などにより、景気回復のペースが鈍化しました。

このような状況のもと、当社グループにおいても部品不足や原材料価格高騰の影響を受けましたが、チェーン事業の販売が好調であったことや円安などにより、当第3四半期連結累計期間の受注高は1,953億15百万円（前年同期比14.5%増）、売上高は1,828億64百万円（同17.6%増）となりました。

損益につきましては、営業利益は137億91百万円（同6.0%増）、経常利益は156億33百万円（同6.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は109億21百万円（同2.9%増）となりました。

当社グループは、「長期ビジョン2030」に掲げた「2030年のありたい姿」の実現に向けて、「Linked Automation テクノロジー」による社会課題解決への貢献を目指しております。

また、2021年度よりスタートさせた「中期経営計画2025」の達成に向けて、既存事業での収益力強化と持続的成長につながる新事業開発に注力しております。

（Linked Automation テクノロジー：高機能化と高度オートメーション化された技術領域）

セグメント別の概況は次のとおりであります。

#### [チェーン]

チェーンにつきましては、日本、米州、欧州、環インド洋において販売が増加したことなどにより、前年同期比で増収となりました。

以上により、チェーンの受注高は691億69百万円（前年同期比14.6%増）、売上高は653億94百万円（同23.1%増）、営業利益は100億15百万円（同22.2%増）となりました。

#### [モーションコントロール]

モーションコントロールにつきましては、日本、米州、欧州、環インド洋、中国において販売が増加したことなどにより、前年同期比で増収となりました。

以上により、モーションコントロールの受注高は182億28百万円（前年同期比4.7%増）、売上高は167億4百万円（同16.8%増）、営業利益は13億94百万円（同67.4%増）となりました。

#### [モビリティ]

モビリティにつきましては、日本における自動車エンジン用タイミングチェーンシステムなどの販売がやや減少したものの、米州、欧州、環インド洋、中国、韓国などの拠点において同商品の販売が増加したことなどにより、前年同期比で増収となりました。

以上により、モビリティの受注高は572億90百万円（前年同期比19.3%増）、売上高は568億32百万円（同18.7%増）となりましたが、エネルギーや原材料価格の高騰などにより営業利益は45億31百万円（同10.1%減）となりました。

#### [マテハン]

マテハンにつきましては、日本における物流業界向けや新聞印刷工場向け、自動車業界向けシステムの売上が減少しましたが、日本および米州、欧州における金属切り屑搬送・クーラント処理装置の売上が増加したことなどにより、前年同期比で増収となりました。

以上により、マテハンの受注高は486億18百万円（前年同期比13.5%増）、売上高は419億99百万円（同9.0%増）となりましたが、日本国内における大口案件の減少に伴う採算性の悪化や成長力強化に向けた新分野への先行費用の増加などにより7億48百万円の営業損失（前年同期は2億3百万円の営業利益）となりました。

[その他]

その他の受注高は20億8百万円（前年同期比4.4%増）、売上高は19億33百万円（同18.2%増）、損益につきましては3億74百万円の営業損失(前年同期は3億39百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して192億26百万円増加し、3,518億46百万円となりました。

流動資産は、有価証券が16億66百万円減少した一方で、仕掛品の増加などにより棚卸資産が94億12百万円増加したこと、電子記録債権が34億20百万円増加したこと、現金及び預金が29億96百万円増加したこと、受取手形、売掛金及び契約資産が26億42百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して181億51百万円増加し、1,846億63百万円となりました。

固定資産は、保有株式の時価下落などにより投資有価証券が15億51百万円減少した一方で、連結子会社であるU.S. TSUBAKI HOLDINGS, INC.によるATR Sales, Inc.の全持分取得等によりのれんが12億37百万円増加したこと、生産設備への投資等により有形固定資産が10億98百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して10億74百万円増加し、1,671億82百万円となりました。

(負債)

負債は、借入金35億49百万円減少した一方で、前受金の増加などによりその他の流動負債が38億68百万円増加したこと、電子記録債務が31億56百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して36億49百万円増加し、1,265億12百万円となりました。

(純資産)

純資産は、為替の変動により為替換算調整勘定が95億42百万円増加したこと、利益剰余金が61億1百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して155億77百万円増加の2,253億34百万円となり、自己資本比率は63.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の実績ならびに現時点における見通しを勘案した結果、2022年5月11日に公表しました2023年3月期通期の連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたします。

通期連結業績予想数値の前提となる第4四半期の為替レートは、1米ドル=130円、1ユーロ=140円としております。

2023年3月期通期の連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2022年5月11日 発表)	240,000	20,000	20,600	14,900	402.50
今回修正予想(B)	245,000	17,500	19,000	13,600	367.29
増減額(B-A)	5,000	△2,500	△1,600	△1,300	—
増減率(%)	2.1	△12.5	△7.8	△8.7	—

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	49,104	52,100
受取手形、売掛金及び契約資産	45,773	48,415
電子記録債権	13,358	16,778
有価証券	6,339	4,672
商品及び製品	22,357	25,277
仕掛品	14,250	17,738
原材料及び貯蔵品	12,400	15,405
その他	3,620	5,031
貸倒引当金	△692	△756
流動資産合計	166,512	184,663
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	31,887	33,244
機械装置及び運搬具（純額）	37,341	36,419
工具、器具及び備品（純額）	3,775	3,784
土地	37,694	37,820
建設仮勘定	4,220	4,748
有形固定資産合計	114,918	116,016
無形固定資産		
のれん	2,496	3,733
その他	8,204	8,272
無形固定資産合計	10,700	12,005
投資その他の資産		
投資有価証券	32,245	30,694
退職給付に係る資産	42	70
その他	8,307	8,497
貸倒引当金	△107	△102
投資その他の資産合計	40,488	39,159
固定資産合計	166,107	167,182
資産合計	332,620	351,846

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,610	21,462
電子記録債務	9,762	12,919
短期借入金	8,591	9,398
1年内返済予定の長期借入金	4,551	419
未払法人税等	3,152	659
賞与引当金	5,164	3,425
工事損失引当金	85	93
受注損失引当金	11	-
株主優待引当金	43	2
営業外電子記録債務	1,286	1,442
その他	16,577	20,446
流動負債合計	67,839	70,269
固定負債		
社債	15,000	15,000
長期借入金	9,727	9,503
役員退職慰労引当金	140	146
退職給付に係る負債	14,196	14,703
資産除去債務	441	446
その他	15,517	16,443
固定負債合計	55,023	56,242
負債合計	122,863	126,512
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,076	17,076
資本剰余金	13,569	13,573
利益剰余金	165,878	171,979
自己株式	△4,220	△4,170
株主資本合計	192,304	198,459
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,716	14,059
繰延ヘッジ損益	△75	81
土地再評価差額金	△10,614	△10,614
為替換算調整勘定	11,622	21,164
退職給付に係る調整累計額	△196	△141
その他の包括利益累計額合計	15,452	24,549
非支配株主持分	2,000	2,325
純資産合計	209,757	225,334
負債純資産合計	332,620	351,846

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	155,459	182,864
売上原価	109,639	130,102
売上総利益	45,820	52,761
販売費及び一般管理費	32,815	38,969
営業利益	13,005	13,791
営業外収益		
受取利息	105	292
受取配当金	945	1,115
その他	1,350	1,224
営業外収益合計	2,401	2,632
営業外費用		
支払利息	193	281
その他	519	509
営業外費用合計	713	790
経常利益	14,692	15,633
特別利益		
関係会社清算益	4	14
投資有価証券売却益	126	7
特別利益合計	130	22
特別損失		
投資有価証券評価損	-	211
関係会社出資金評価損	68	-
特別損失合計	68	211
税金等調整前四半期純利益	14,755	15,444
法人税、住民税及び事業税	3,805	3,775
法人税等調整額	251	652
法人税等合計	4,056	4,427
四半期純利益	10,698	11,017
非支配株主に帰属する四半期純利益	79	95
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,619	10,921



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	10,698	11,017
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,790	△656
繰延ヘッジ損益	41	156
為替換算調整勘定	3,621	9,765
退職給付に係る調整額	74	55
持分法適用会社に対する持分相当額	32	55
その他の包括利益合計	5,559	9,376
四半期包括利益	16,258	20,393
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,021	20,019
非支配株主に係る四半期包括利益	236	374

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	チェーン	モーション コント ロール	モビリ ティ	マテハン	計				
売上高									
外部顧客への売上高	53,108	14,307	47,891	38,515	153,824	1,635	155,459	—	155,459
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,339	399	0	34	1,773	509	2,283	△2,283	—
計	54,448	14,706	47,892	38,549	155,597	2,145	157,743	△2,283	155,459
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	8,194	832	5,038	203	14,268	△339	13,929	△924	13,005

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業、新規事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△924百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△928百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期 連結損益 計算書 計上額
	チェーン	モーション コント ロール	モビリ ティ	マテハン	計				
売上高									
外部顧客への売上高	65,394	16,704	56,832	41,999	180,931	1,933	182,864	—	182,864
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,442	450	1	20	1,914	444	2,359	△2,359	—
計	66,836	17,155	56,834	42,019	182,845	2,377	185,223	△2,359	182,864
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	10,015	1,394	4,531	△748	15,192	△374	14,818	△1,026	13,791

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業、新規事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△1,026百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,030百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。